

東三河農業要覧

2014



平成27年3月

目 次

1	東三河農業の主要指標	1
2	地域農業の概要	2
3	農業産出額の概要	5
4	農産物の生産状況	6
5	畜産の生産状況	12
6	事業実施状況の概要	14
7	農業経営基盤強化促進事業の概要	24
8	地方卸売市場の概要	25
9	農業協同組合の概要	26
10	農業振興地域制度の概要	27
11	農地制度の概要	28
12	参考資料	
	(1) 作物・種類別農業産出額の状況	29
	(2) 耕地の状況	30
	(3) 農家の状況	31
	(4) 作物別作付(栽培)面積・収穫量	32
	(5) 家畜の飼養状況	35
	(6) 畜産経営に起因する環境汚染問題の発生状況	36
	(7) 農薬取締法及び肥料取締法関係の届出状況	37

表紙の写真

- 次郎柿、遠くに石巻山
次郎柿は平成26年に豊橋産生誕100周年を迎えました。

1 東三河農業の主要指標

区 分	単位	東 三 河			愛 知 県			全 国			出典資料
		20年	25年	対比% 25/20	20年	25年	対比% 25/20	20年	25年	対比% 25/20	
農 家 戸 数	戸	15,918	14,947	94.2	92,033	84,028	91.6	2,848,166	2,527,948	88.8	2005年農林業 センサス 17年2月 2010年農林業 センサス 22年2月
農 家 率	%	6.5	5.9		3.3	2.9		5.8	4.9		
販 売 農 家	戸	11,837	10,806	91.3	51,638	43,599	84.4	1,963,424	1,631,206	83.1	
主 業 農 家	戸	6,428	5,280	82.1	13,000	10,128	77.9	429,467	359,720	83.8	
主 業 農 家 率	%	54.3	48.9		25.2	23.2		21.9	22.1		
農 業 就 業 人 口	人	29,930	25,852	86.4	100,261	77,359	77.2	3,352,590	2,605,736	77.7	
基 幹 的 農 業 従 事 者	人	25,922	23,887	92.1	73,209	66,861	91.3	2,240,672	2,051,437	91.6	
耕 地 面 積	ha	18,330	18,377	100.3	79,700	77,900	97.7	4,609,000	4,537,000	98.4	耕地面積調査 20年7月 25年7月
1戸当り平均耕地	a	115	123	107.0	87	93	106.9	162	179	110.5	
田 面 積	ha	5,328	5,383	101.0	44,900	44,100	98.2	2,506,000	2,465,000	98.3	
畑 面 積	ha	12,992	12,994	100.0	34,800	33,800	97.1	2,103,000	2,072,000	98.5	
田面積の割合	%	29.0	29.3		56.3	56.6		54.4	54.3		
農 業 産 出 額	億円	1,466			3,210	3,084	96.1	86,509	85,742	99.1	生産農業所得 統計 20年 25年
米	%	3.2			10.8	10.1		22.3	20.8		
園 芸	%	72.1			59.2	59.9		37.2	39.2		
畜 産	%	23.9			26.4	26.4		31.3	32.6		
農作物作付延べ面積	ha	18,940			74,100	71,900	97.0	4,265,000	4,181,000	98.3	作物統計調査 19年 24年
稲作付面積	ha	4,299			31,400	30,100	95.9	1,629,000	1,581,000	97.1	
野菜作付面積	ha	9,232			18,500	17,800	96.2	554,400	539,100	97.2	
果樹作付面積	ha	1,780			5,430	5,080	93.6	254,700	240,300	94.3	
花き等作付面積	ha	1,714			4,840	4,660	96.3	88,400	85,600	96.8	
乳用牛飼養頭数	頭	16,130			33,300	30,000	90.1	1,500,000	1,423,000	94.9	畜産統計調査 20年2月 25年2月
肉用牛飼養頭数	頭	34,200			58,800	50,000	85.0	2,923,000	2,642,000	90.4	
豚飼養頭数	頭	230,870			372,300	350,700	94.2	9,899,000	9,685,000	97.8	
採卵鶏飼養羽数	千羽	3,111			9,982	9,222	92.4	180,994	172,238	95.2	

* 園芸は野菜、果実、花きの計

* 農業産出額～採卵鶏飼養羽数の東三河の平成20年は、平成18年の数値

2 地域農業の概要

東三河農林水産事務所の管轄する地域は、愛知県の東南部に位置している。平成 17 年 10 月に渥美郡渥美町が田原市へ編入合併され、同様に、平成 18 年 2 月に宝飯郡一宮町が豊川市へ、平成 20 年 1 月に宝飯郡音羽町及び御津町が、平成 22 年 2 月に小坂井町がそれぞれ編入合併されたことから、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市の 4 市となっている。

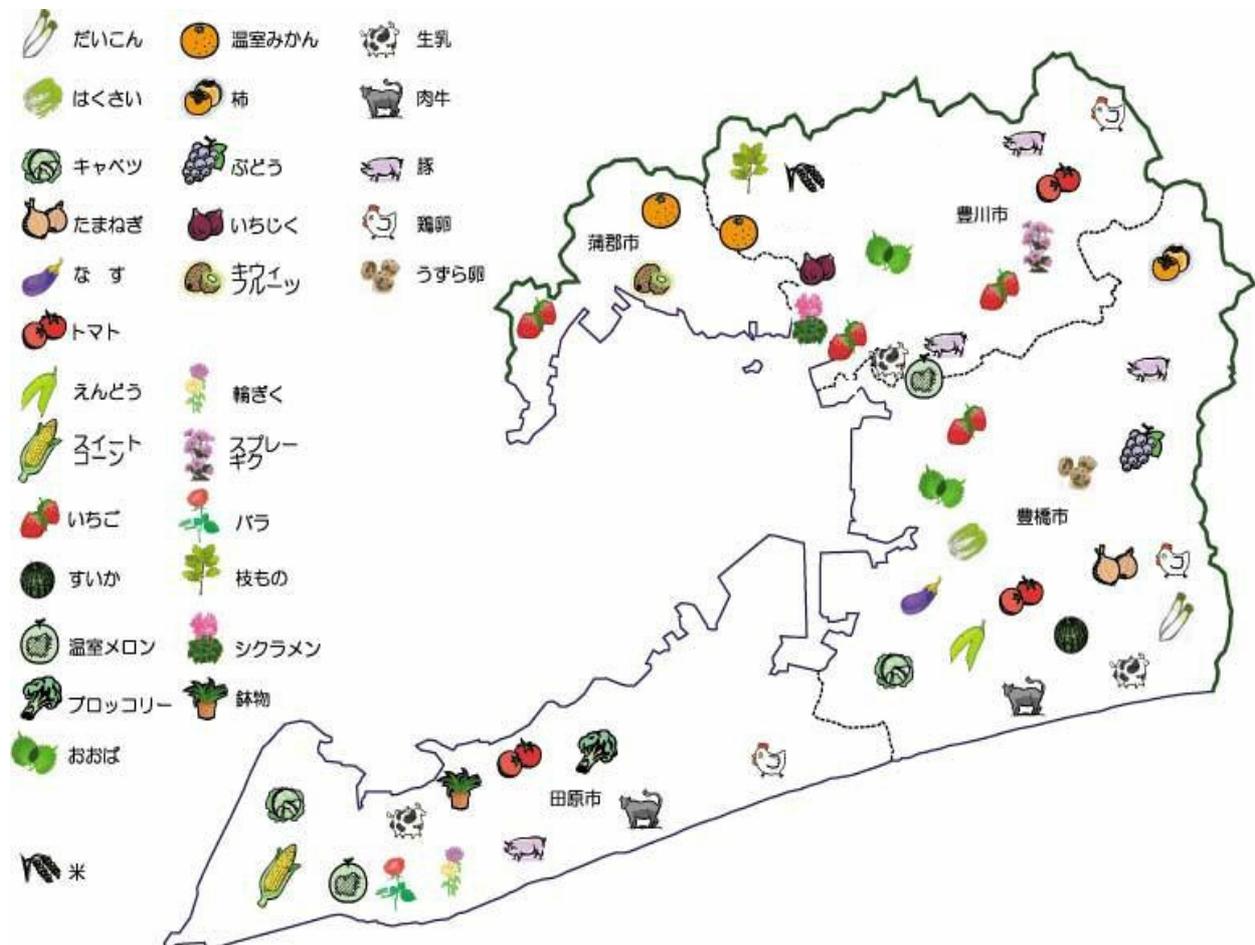
温暖な気候と豊川用水の恩恵に加え、交通網の整備等により、園芸、畜産を始め多種多様な農業が営まれている。

昭和 43 年の豊川用水の全面通水を契機に、この地域の農業は水利用に合わせた生産構造に転換した。

その後、この地域は、国や県、市町村の各種補助事業を積極的に活用し、農業生産基盤や園芸・畜産団地、農産物の集出荷場、家畜ふん尿処理施設、農村環境等の整備を進めるとともに、農業近代化資金等の農業制度資金の活発な投資を行い、農業振興、農村の活性化に積極的に取り組んでいる。

こうした取り組みの結果、現在では、露地野菜や施設園芸作物は全国屈指の産地となり、首都圏を始め京阪神、名古屋など全国各地に出荷されている。

地域特産マップ



(1) 農家の動向

管内の総人口(平成 22 年 3 月 31 日現在)は 692,194 人、総世帯数は 254,193 世帯となっており、このうち総農家就業人口(15 歳以上)(平成 22 年 10 月 1 日現在)は、産業別就業人口(15 歳以上)(平成 22 年 10 月 1 日現在)365,255 人の 7.6%に当たる 27,881 人、総農家数(平成 22 年 2 月 1 日現在)は総世帯数の 5.9%に当たる 14,947 戸となっている。この農家数は県全体の 17.8%を占めている。

また、販売農家(平成 22 年 2 月 1 日現在)は総農家数の 72.3%に当たる 10,806 戸(県全体の 24.8%)となっている。

管内の販売農家に占める主業農家(平成 22 年 2 月 1 日現在)の割合は 48.9%(5,280 戸)と、県平均 23.2%の 2.1 倍となっている。特に、田原市は 66.2%と高い割合にある。

(2) 耕地面積の動向

管内の耕地面積(平成 25 年 7 月 15 日現在)は 18,387ha で、このうち畑が 12,994ha、田は 5,383ha となっている。耕地面積に占める畑の割合は 70.7%と、県平均 43.4%に比べ高い割合にある。

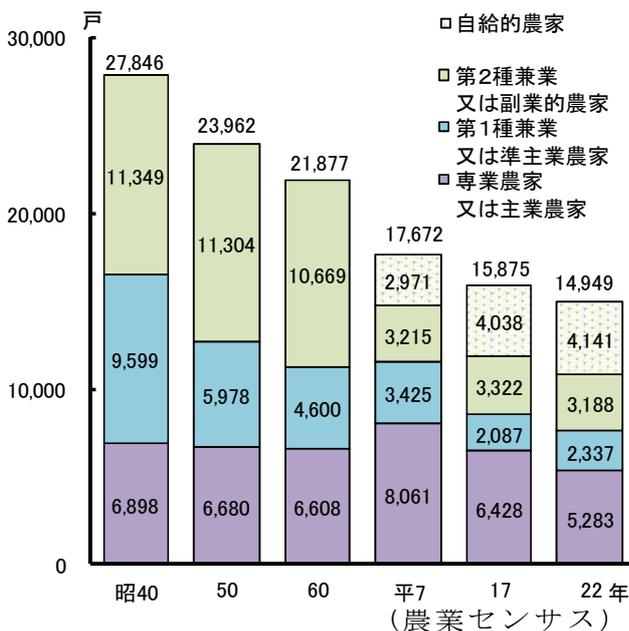
また、管内農家の 1 戸当たりの平均経営耕地面積(平成 22 年 2 月 1 日現在)は 97 a と、県平均の 66 a の 1.47 倍となっている。

(3) 経営耕地規模別農家数

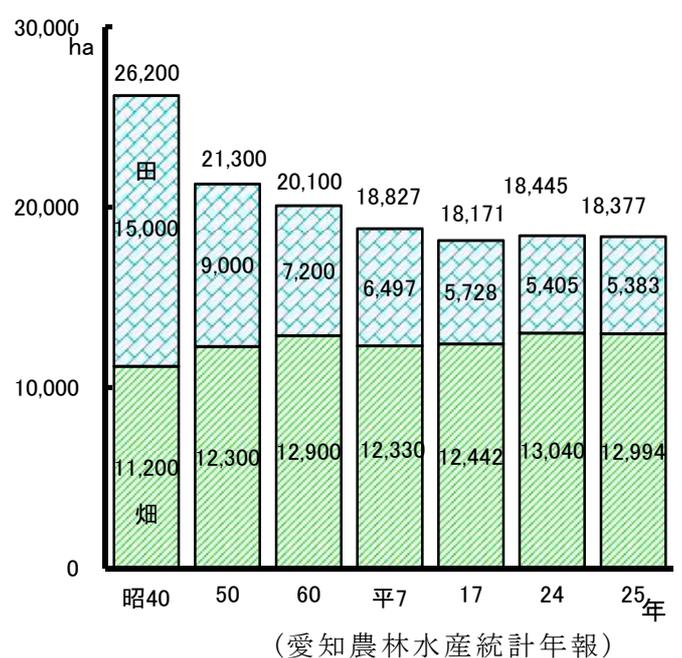
管内の経営耕地面積規模別農業経営体数(平成 22 年 2 月 1 日現在)の構成割合をみると、0.5ha 未満は 21.6%、0.5 以上 1.0ha 未満は 36.9%、1.0 以上 2.0ha 未満は 26.8%、2.0ha 以上が 14.8%となっている。

特に、豊橋市や田原市には経営規模の比較的大きな農家が多い。

兼業別農家数などの推移



耕地面積の推移



(4) 豊川用水の概要

東三河地域は昭和 43 年に全面通水した豊川用水により、温暖な気候と京浜・京阪神の大都市圏の中間に位置する地理的条件を生かして、全国屈指の畑作農業地帯へと大きく発展した。

しかし、営農形態の変化や人口増加等による水需要の増大や渇水により、昭和 48 年以降、毎年のように節水を余儀なくされてきた。

その対策として、昭和 55 年から新規水源の確保を目的とした豊川総合用水事業が着手され、平成 14 年 3 月に完了した。しかしながら、近年では無降水日の増加と短時間での強雨といった傾向にあり、より安定した水供給を確保するため、設楽ダム建設事業の推進が必要となっている。

本県では、昭和 61 年から「水管理の合理化」と「水資源の有効活用」を目的とした県営かんがい排水事業豊川総合用水地区により、支線水路の改築を行い、平成 22 年 3 月に完了した。

また、豊川用水は通水後約 40 年が経過しており、施設の老朽化による漏水・破損事故等が顕著となってきたため、独立行政法人水資源機構は平成 11 年度から「幹線水路の改修と複線化」及び「国営級支線水路改築」を目的とした豊川用水二期事業を実施した。

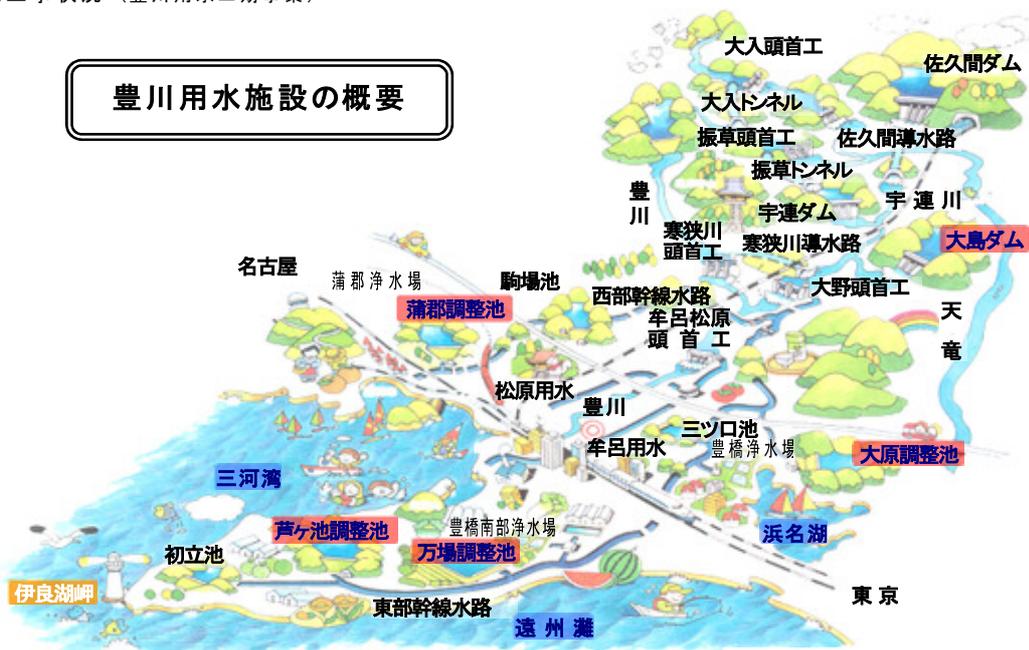
さらに、平成 19 年度に豊川用水二期事業に計画

変更で追加した、東海・東南海地震の防災対策区域の拡大に伴う幹線水路・水源施設等の改修のための「大規模地震対策」及び支線水路や畑かん水路で多く使用されている石綿セメント管の老朽化やアスベスト対策のための「石綿管除去対策」を平成 27 年度完了に向け実施している。



幹線水路の複線化工事状況（豊川用水二期事業）

豊川用水施設の概要



(独)水資源機構豊川用水総合事業部資料

3 農業産出額の概要

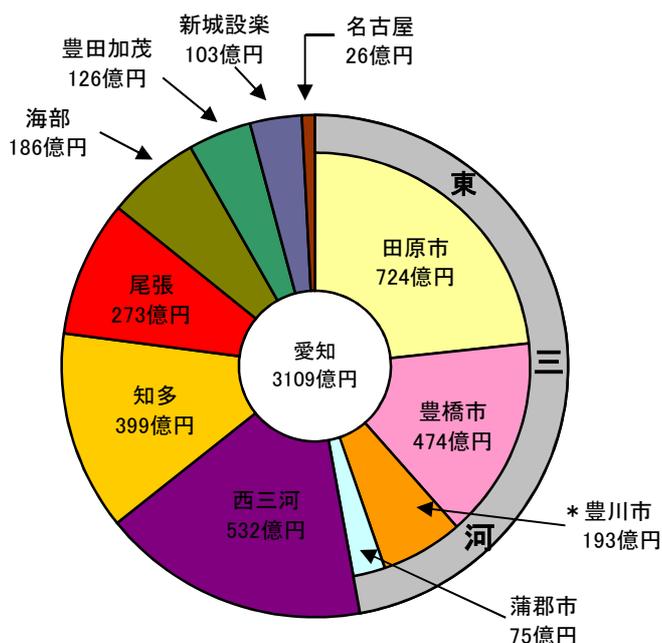
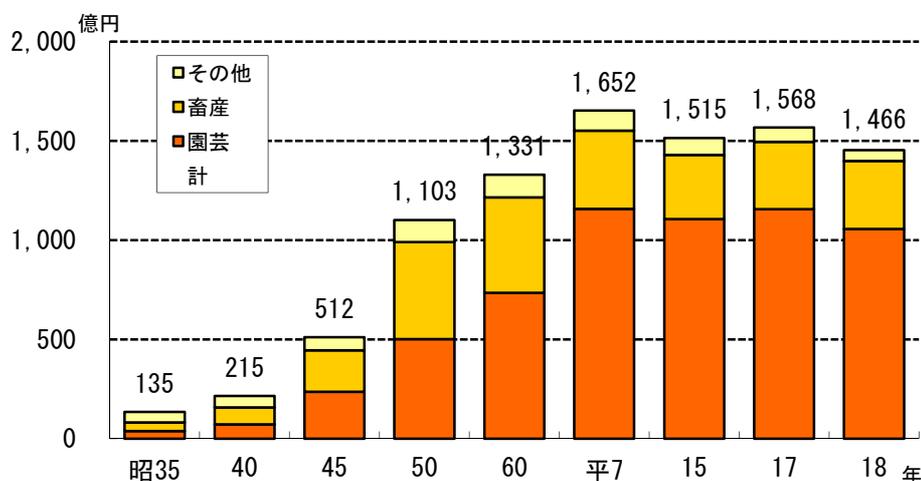
平成 18 年におけるこの地域の農業産出額は県全体の 47.2% を占める 1,466 億円である。この内訳は、園芸作物が 1,056 億円（県全体の 52.9%）、畜産 343 億円（同 21.6%）、穀類 55 億円（同 15.5%）などとなっている。

主な品目としては、野菜はトマト、メロン、キャベツ、はくさい、レタス、ブロッコリー、果実はみかん、かき、ぶどう、花きはきく、ばら、観葉植物などである。

また、主な畜産物は、生乳、肉用牛、豚、鶏卵などである。

市町村別の農業産出額では、田原市が県全体の 23.3% を占める 724 億円を始めとして、豊橋市は 474 億円（県全体の 15.2%）、豊川市が 193 億円（同 6.2%）、蒲郡市が 75 億円（同 2.4%）となっている。

農業産出額の推移



* 豊川市には合併前の旧宝飯郡を含む

県内地域別農業産出額の割合（平成 18 年）（生産農業所得統計）